

主の平安！

春の訪れが人々の心を和ませ、イースターの近いことを告げています。

今年はチマッティ神父来日75周年にあたるとともに、師が15年間活躍し、最後に神様から召された所である調布サレジオ神学院の創立50周年にもあたります。この学院の地下聖堂に師のお墓があり、師の記念館も敷地内にあります。毎日、多くの人々がお参りに来られます。1991年、チマッティ神父は教会から「尊者」とされました。私たちは、さらに「福者」また「聖人」とされることを心から待ち望んでいます。そのため、一つの奇跡が生まれることを神様にこいねがっています。

そのためには、まず、人々に師の遺徳を知らせる必要があります。昨年、資料館が改装・整理され、先日は、伝記『チマッティ神父と歩んだ日々』、『日本を愛した宣教師』という2冊の新刊書、そして、師の音楽を紹介した『心が歌う チマッティ神父』と題されたCDやビデオが発表されました。これらを通して初めて師に接した人たちは、「本当の聖人に会った」と感想を述べてくれています。私たちは、神様が日本や教会に与えてくださったこの大きなお恵みのために心から感謝いたします。

現在、「チマッティ資料館」を中心に「チマッティ神父友の会」や「チマッティ神父音楽の会」が結成され、多くの方々が列福運動のために協力してくださっています。お忙しい皆さんに負担をおかけするのは心苦しくしくもありますが、神様がくださったお恵みに応じてご協力いただければまことに幸いです。チマッティ神父は、天国からみなさんのご家族のために恵みを取り次いでくださるでしょう。

最新の情報をお知らせいたします。

まず、チマッティ神父の音楽を知ってもらうため、2つのコンサートを準備しています。

第1は、「喜びあふれるチマッティ神父」というテーマで、6月15日(金)19:00、四谷駅前、聖イグナチオ教会で行なわれます。(700席)

第2は、「日本を歌うチマッティ神父」というテーマで、9月9日(日)13:30、調布駅南口、調布市グリーンホールで行なわれます。(1300席)

いずれも入場無料です。多くのお友だちを連れてきてくださるようお願いいたします。

次に、先日発売されたCDは好評を得、再版が必要となりました。多くの人々は、是非、チマッティ神父の肉声とその実演を聞きたいと願っています。現存している数少ない録音の中から発表可能なものを現在検討です。それは、CD第2号となるでしょう。

3月5日の『ちようふ市報』第1ページに、チマッティ資料館のことが紹介されました。子供のときチマッティ神父に出会った市長吉尾勝征氏自身がお書きになったものです。数日前、資料館を訪ね、墓参してくださいました。私も吉尾氏とは40年ぶりの再会でした。

3月上旬『江藤俊哉 ヴァイオリンと共に』という本をいただきました。その中で、江藤氏は、中学校時代にチマッティ神父と共にコンサートのため全国を回り、13歳の時、ダルフイオル神父の説教に感動して洗礼を受けたことを写真入で記しています。今は体調を崩しておられますが、先生の健康快復を心からお祈りしましょう。

2月下旬、サレジオ会来日75周年のために副総長ヴァン・ローイ神父が来日され、25日に碑文谷サレジオ教会、26日に調布サレジオ神学院でお祝いに参加されました。その中で、チマッティ神父の道を進むべき時であると強調し、その後、資料館とお墓を訪れ、チマッティ神父の列福のために祈りをささげられました。この機会に、藤川長喜管区長も、「チマッティ運動」を盛り上げるように呼びかけ、「チマッティ神父は、サレジオ会のみならず、日本の教会のたくいまれな宝です。チマッティ神父を、今一度、日本管区に取り戻しましょう。私たちは今、チマッティ神父への回帰の時です」と、将来にむけて大きな目標をお示しになりました。

今年から、毎月の6日10:30から、調布の神学院の聖堂で命日のミサがささげられています。ただいまそれが定着し、毎月、60名ほどの参加者が熱心にチマッティ神父の列福を祈っています。その取次ぎによるお恵みの報告も相次いでいます。中には霊的なもの（家庭問題の解決など）が多く、不思議な病氣治癒も報告されています。しかし、奇跡として教会から認められるには、医師による事実の証明が必要です。それは、決して、奇跡の証明ではありません。医師は、ただ治った事実とその状況を証明すればよいのです。早くそのようなものができるように祈っています。

チマッティ神父と長く付き合い、その音楽もよくご存知シモンチェリ神父が、4月末、カトリック調布教会へ転勤になります。私にとって、列福運動のための力強い協力者となります。

5月中旬、私は、チマッティ神父の情報を収集し、列福を願う運動を推進するためにイタリアへ出かけます。20日には、チマッティ神父の生まれ故郷ファエンツァで、そのOB会で話すことになっています。先日、その同窓会から列福運動のための寄付もいただきました。帰りは5月末の予定です。

聖骸布の研究について一言。昨年、四谷で聖骸布の展示会を開き、NHKならびにTBSのテレビで放映された聖骸布の番組に協力し、「日本聖骸布研究会」を設立しました。現在、60数名が入会しています。今度の4月21日（土）13:30より、調布サレジオ神学院で「聖骸布とオヴィエドのスタリオの共通点を探る」というテーマで最初の研究会を開きます。「スタリオ」というのは、ヨハネ20章7節に出てくる「覆い（汗拭き布）」のことです。最近、スペインのオヴィエド市にある「スタリオ」について面白い研究が行なわれてきています。興味のある方は、どなたでもご参加ください。

復活祭にあたって皆さんの上に神様の豊かなお恵みが注がれますよう、チマッティ神父の墓前で毎日取次ぎを願い、祈りをささげています。

2001年4月10日

ガエタノ・コンプリ神父

毎月6日10・30、チマッティ神父の命日のミサ 師の列福を祈るため、毎月、調布サレジオ神学院内の聖堂でミサを捧げる。参加者は、共にその取次ぎを祈る。

チマッティ神父友の会 師の列福運動を推進するため、「チマッティ神父友の会」を結成する。

目的は、チマッティ神父の列福のために祈り、他の人にも祈ってもらうこと。

チマッティ神父を知るようにし、他の人にも知らせること。

お墓へお参りし、資料館を訪れ、音楽などの出版物を普及すること。

コンサートなどの行事に協力すること。

これらの目的の一つでも協力できる方は、どなたでも入会できる。

入会金は無料。運用資金は会員その他の献金によって賄っている。

チマッティ神父音楽の会 900曲以上もある師の作曲を、活用し、知らせるため、「チマッティ神父音楽の会」が結成する。音楽に関して特技があり、奉仕できる方はどなたも入会できる。師の音楽を広く活用するため、地域ごとの支部を結成することも可能である。

目的は、チマッティ神父の音楽を研究し、普及すること。

コンサートなどの実現のために協力し、音楽を通して神を賛美すること。

入会は無料。会員はコンサートのために自由にチマッティ神父の作曲を活用できる。

申 込 書

チマッティ神父友の会

チマッティ神父音楽の会 私が協力できるのは 歌(ソプラノ……………)

楽器(オルガン……………) 写譜 指揮 コーラス

私は、下記のとおり注文します。

「チマッティ神父と共に歩んだ日々」 タシナリ著 800円 冊数

「日本を愛した宣教師 チマッティ神父」コンプリ著 300円(友の会100円) 冊数

「ほほえみ、慈愛と祈りの人 チマッティ神父」クレバコーレ著 1000円 冊数

「心が歌う チマッティ神父」CD 23曲を収録75分 1500円 巻数

「心が歌う チマッティ神父」ビデオ 25曲を収録75分 2000円 巻数

氏名 _____

住所 〒 _____

電話 _____

fax _____

e-mail _____

〒182-0033 調布市富士見町3-21-12 0424-82-3117 fax 0424-90-6707
サレジオ神学院内 チマッティ資料館

<http://www2.ocn.ne.jp/~g-compri/>

g-compri@sweet.ocn.ne.jp